

エコロ 後藤雅晴 社長の

連載

ここに注目!! プラリサイクル(3)



家庭系の
製高品プラも対象

現在、国内では、従来からのリサイクラーだけでなく、海外系のリサイクラーも国内外に再生プラ原料を販売するために再生ペレット製造を手掛けている事業者が増えているが、高グレードのプラスチックラップでおおむね単一の樹脂・材質あるいは同一の製品を扱っているところがほとんどだろう。

例えば、PP材料・ナ、PPバンド、ストPE材料には人気がある レッチフィルム、PEは、事業活動に伴って Tポトルキャップなど

多様な廃プラをブレンド



家庭からも再生プラ原料が出る

があるが、その他にも有価のプラスチックスクラップではないが、「廃棄物」にまわっている物も非常に多い。

ニースから「レシピ」をつくる

PPやPEなどでできている使用済み品は、事業活動に伴って発生するものだけでは、まわすためには、さまざまな種類のものをブレンド(配合)して、

廃棄に回っている多様な使用済みプラスチックを再生利用に

なく、家庭から発生するものも多い。いわゆる「製品プラ」だ。ただし、ブレンドを必要にする成分を均等にすること。私どもはすでに、一行う際にはまず、使用された製品プラも扱っ(需要家メーカー)のニースを考える。例として、今後、その調達が重要になる。例達先を増やそうと考ええるならば、料理をつくる場合のレシピと同じことだ。

再生プラ原料やMI値(成形性の流動性)、実際の成形製品のト(成形製品の物性)などの物性、業種で使用できること、ど

ブレンドする、考慮すれば、現り組みの延長線一部は混合フィードも再生利用することも可能になる。また、繰り返しにな